

この度はニューアルパカストーブをご購入いただき、まことにありがとうございます。
保証書は裏表紙に印刷されています。保証期間等必ずご確認ください。

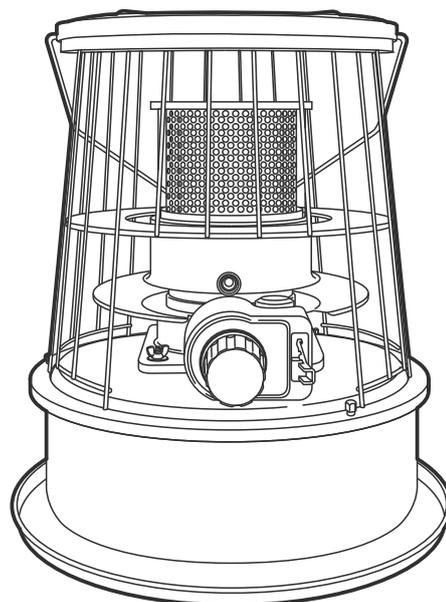
取扱説明書

ご使用になる前の注意事項 点火する前の注意点

燃料は必ず良質の「JIS1号灯油」を使用してください。
はじめて使用するときは給油後、必ず20分以上待ってから点火してください。
取扱説明書は必ずお読みいただき、すぐ見れる場所に大切に保管してください。

もくじ

[1] 使用上の注意事項	1
[2] 推奨される使用場所	4
[3] 各部のなまえ	5
[4] 使用前の準備	6
1. ストーブの取出しについて	6
2. 燃料について	6
3. 給油について	7
4. 点火前の準備と確認について	7
[5] 使用のしかた	8
1. 点火のしかたについて	8
2. 炎の調節のしかたについて	8
3. 消火のしかたについて	9
[6] 安全装置(対震自動消火装置)	10
[7] 普段の手入れ・点検	10
[8] 機器の定期点検	11
[9] 故障や異常の見分けかたと処置のしかた	11
[10] 部品の交換方法	12
[11] 保管について	12
[12] 廃棄について	12
[13] 仕様	12
[14] アフターサービスについて	13
整備メモ	14



	注意	変質した持ち越し灯油 使用厳禁
	危険	 ガソリン使用禁止 使用燃料: 灯油 KEROSENE ONLY
	警告	 換気必要 1時間に1~2回 衣類乾燥厳禁 寝るとき消火 給油時消火

[1] 使用上の注意事項 (絵表示やイラストの意味の重要性)

※下記の表示の意味をよくご理解いただき、じゅうぶんに安全を確保した上でご使用をお願いいたします。ご使用者や他の方への危害並びに財産などへの損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しく使用するために必ずお守りいただくことを説明しています。下記に示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。(危険、警告、注意と3つに分かれて説明しています。)

 危険 (DANGER)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告 (WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意 (CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

下記の絵表示はお守りいただく内容で区分しています。(禁止・注意・指示の3つに分かれています。)

    	禁止		注意	 	指示
---	-----------	---	-----------	---	-----------

※不注意(燃料の入れ間違いや換気のし忘れ)による火災などの危険を未然に防ぐため、下記の事項を必ず守ってください。

危険 (DANGER)

◆ガソリンは絶対に使用しないでください。
少量の混入でもガソリンなど揮発性の高い油は、火災の原因になります。必ず灯油専用の容器をご使用ください。一度でもガソリンを使用した容器は絶対に使用しないでください。



灯油 ガソリン

ガソリン禁止



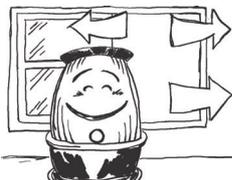
警告 (WARNING)

◆1時間に1~2回(1~2分)の換気は厳守です。

- 換気の出来ない場所またはじゅうぶんに行えない場所(地下室など)での使用はしないでください。
※普段は使用できる窓が凍結している場合など、その時の状況で危険になる場合がありますので、使用前に必ず換気ができる状況か確認してください。
- 使用中は必ず1時間に1~2回(1~2分)の換気をして、新鮮な空気を補給してください。
それでも不じゅうぶんと感じる方は再度換気をしてください。
- 換気の際は2カ所以上の窓やドアを開けてください。
※離れた位置の窓やドアを開けないとじゅうぶんな換気ができない場合があります。
- 換気せずに使用しつづけると、酸素が不足し不完全燃焼がおこり、一酸化炭素中毒になる危険があります。
※お年寄りや乳幼児・呼吸器疾患などのかたは、特に注意が必要です。

換気指示





◆調理は厳禁です。
調理などに使用しないでください。
やけどをしたり、空だきによる火災の危険があります。
また、ストーブの故障や損傷の原因になります。

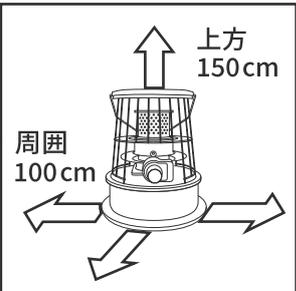


調理禁止



◆可燃物をストーブの周辺に近接させることは厳禁です。
ストーブの周りに燃えやすいものを置かないでください。
布団や毛布、カーテンなどや燃えやすい物の近くでは、絶対に使用しないでください。火災の危険があります。
※可燃物とは、右図に示す距離を確保してください。

上方
150cm



周囲
100cm

可燃物禁止



◆衣類の乾燥は厳禁です。
乾燥や加熱目的でストーブ周辺やストーブの上に物を張りつけたり下げたりしないでください。乾燥した衣類がストーブの熱気でゆれて、落下して火がつき火災になります。



衣類乾燥禁止



◆可燃性ガスやスプレーの使用は厳禁です。
ストーブを使用している室内で、ガソリン・シンナー・ベンジンなどの可燃性ガスが発生するものや、スプレーなどを使用しないでください。
火災の危険があります。



可燃物禁止



スプレー缶可燃性ガス

警告 (WARNING)

◆カセットコンロ、スプレー缶などの放置は厳禁です。

カセットコンロ用ボンベやスプレー缶などを、ストーブの上や周囲に放置すると、ストーブの熱で缶の圧力が上がり、爆発などの危険があります。

可燃物禁止



◆給油時に消火せず、燃料を給油することは厳禁です。

給油するときは、完全に火が消えて、ストーブが冷えた状態で、周りに灯油の漏れ、火のつくものが無いなど、周りの状況を必ず確認し、給油してください。

ストーブ稼動中や熱が残っているときには絶対に給油しないでください。火災の危険があります。

給油は火の気のない所でおこなってください。屋外で行うことを推奨します。

給油時消火



◆寝るときや、外出するとき、消火することが困難な人だけになる場合等は消火を必ずしてください。

就寝時やストーブのそばを離れるときは、かならず火を消してください。

人目の届かないところでは、使用しないでください。

重大な事故につながります。

消火確認



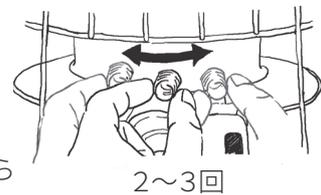
◆燃焼筒を正しくセットしてください。

●点火後、燃焼筒取っ手を左右に2～3回動かし、燃焼筒がしんの上に乗っていないか、正しく対震自動消火装置にセットされているかを確認してください。正しくセットされていないと、異常燃焼し火災の危険があります。

●マッチの燃えかすなどを、しん付近やストーブ内に落としたり、置台の上に置かないでください。

点火用ライターやマッチなどの引火性の高いものは、ストーブ及びその周囲からじゅうぶんに遠ざけてください。火災の危険があります。

燃焼筒確認



2～3回

注意 (CAUTION)

◆火がついたままの移動は禁止です。

ストーブの移動は完全に消火した状態で行ってください。

やけど、ケガなどの危険があります。

また、転倒すると火災になる危険があります。

燃焼中移動禁止



◆やかんなどの使用は禁止です。

●やかんなどをのせた場合は、振動や接触によって、やかんなどの熱湯がこぼれたり、ガラス部分が破損したり、やけどやケガをしたり、異常燃焼の危険があります。

また、ストーブの故障や損傷の原因になります。

やかん禁止



◆ガラス外筒破損時の使用は禁止です。

ガラス外筒が破損(ヒビ、欠け、割れなど正常でない場合)したままでは、絶対に使用しないでください。異常燃焼やすすが発生するなどの危険があります。

使用禁止



◆異常・故障時の使用は禁止です。

異常や故障(油漏れやにおい、すすの発生、炎の状態などが正常でない場合)と思われるときは、使用しないでください。

また、緊急消火時はあわてずに、しんを下げても火を確認してください。

使用禁止



◆不良灯油(変質灯油・不純灯油)の使用は禁止です。

長期保管で性質が変化してしまった変質灯油や、水や異種の油などが混入した不純灯油は、絶対に使用しないでください。

故障(火がつかない、火が消えない、しんが動かない)や、異常燃焼の危険があります。

不良灯油禁止



⚠ 注意 (CAUTION)

◆高温部への接触は禁止です。

- 燃焼している最中や、消火した直後は、ストーブの上面やガードなど高温になっているところには、接触しないでください。
- 燃焼中は運搬取っ手を定位置に戻してください。やけどやケガなどの危険があります。



接触禁止



◆お客様個人での分解修理・改造は禁止です。

故障や破損時は使用しないでください。また、改造して使用しないでください。不完全な修理・分解・改造は危険です。故障や破損時は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



分解禁止



◆点火前に注意すること。

はじめて使用するときや、しんの交換をした後は、しんに灯油がじゅうぶんなじむよう、給油後約20分間おいて点火してください。じゅうぶん灯油がなじんでいない場合、点火や消火が困難になったり、しんの上下操作に異常が出る場合があります。

点火前注意



◆長時間のふく射熱にあたらないうでください。

ふく射熱に長時間ストーブの間近であたりつづけると、脱水症状や低温やけどなどの危険があります。とくに、お年寄り・幼いお子様・体の不自由な方・病気の方などの暖房にはじゅうぶん注意してください。

やけど注意



◆保管時に注意すること。

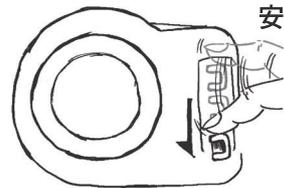
長期間使用しない場合や保管する場合は、必ず灯油を全て抜いてください。傾けたり、横倒しにしないでください。故障や火災の原因になります。

保管時指示



◆対震自動消火装置 (安全装置) の作動確認をしてください。

はじめて使用するときには、対震自動消火装置を作動させて確実に消火することを確認してください。消火しないときは使用しないで、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

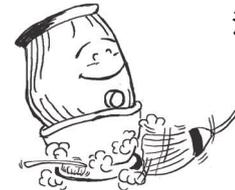


安全装置作動



◆ゴミ・ほこりの除去などの掃除をしてください。

ストーブ全体のゴミやほこりを掃除してください。油タンクと置台の間から燃焼用空気を吸い込むので、異物 (紙やビニルなど) を入れないようにしてください。ゴミやほこりによって、異常燃焼や火災の危険があります。



清掃点検



◆お年寄り・幼いお子様・体の不自由な方・病気の方のご使用に注意してください。

お年寄り・幼いお子様・体の不自由な方・病気の方がいる場合は、やけどやケガ、脱水症状、換気などについてストーブの取り扱いに周囲の人がじゅうぶんに注意してください。

指示



◆廃棄・リサイクル時は注意してください。

ストーブを廃棄するときは、油タンク内の灯油を全て抜いてください。灯油が入ったまま廃棄やリサイクルすると、予測しない事故が発生する原因となります。

指示



◆移動時、運搬時は注意してください。

- ストーブ移動、運搬時は必ず火を消して、温度がじゅうぶんに下がってから、運搬取っ手をもち製品を水平に保ち、静かに傾けないように移動してください。運搬取っ手は真上に引き上げ、横や斜め方向に引っ張らないでください。運搬取っ手が抜けて製品が落下する危険があります。
- ストーブを運搬 (修理・引越しなど) される場合は、油タンクの灯油を全て抜いてください。灯油がこぼれ、予測しない事故が発生する原因となります。

指示



⚠ 注意 (CAUTION)

◆ 純正部品を使用してください。

部品は、必ずニューアルパカストーブ純正部品 (指定された部品) を使用してください。
ニューアルパカストーブ純正部品を使用しない場合、
ストーブの性能を損なったり、故障や予測しない事故が発生する原因となります。

● P12、[10]部品の交換方法参照

指示



◆ 次の場所での使用は禁止です。火災やケガなど危険です。

● 人のいない場所や可燃物などがある場所 (飼育小屋、製材所など、その他)

ストーブの取り扱いが出来る人のいない場所など、
環境の変化で、予測しない事故が発生する危険があります。

● ストーブが囲われる場所 (暖炉など)

暖炉や押入れなどの (狭い場所) に入れての使用など、
特殊な使いかたをしないでください。

● 化学薬品やスプレーを使う場所 (美容院、理髪店、クリーニング店、工場など)

ストーブの熱で化学薬品などが変化してストーブの故障や、腐食性ガスの発生により、
鏡・ガラス・金属などを傷める原因となります。

● 傾いた場所、不安定な場所

床面は水平で安定した場所で使用してください。
対震自動消火装置が誤作動するので、傾いた場所や振動の激しい場所では
使用しないでください。

また、車両や船舶では使用しないでください。火災の危険があります。

● 湿気やほこりの多い場所

ほこりの多い場所、粉類や繊維を扱う場所では使用しないでください。
燃焼用空気の供給部がつまり、異常燃焼をおこす原因となります。

◆ 次の場所での使用は禁止です。

● 高地・酸素濃度の薄い場所での使用

酸素濃度が薄いことによって、異常燃焼をおこす原因となります。

● 温度の高い場所や直射日光にさらされる場所

油が温まり油もれや異常燃焼をおこし、火災の危険があります。

● 部屋の開口部や屋外、風のあたる場所

部屋の開口部付近や人の通る場所、狭い場所、つまずく場所で使用しないでください。
転倒して事故やケガ、火災の危険があります。

家電類の排気のあたる場所や風のあたる場所では使用しないでください。

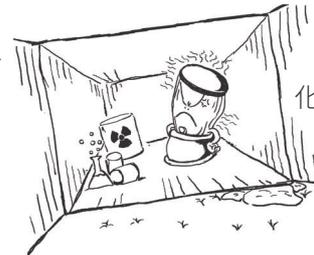
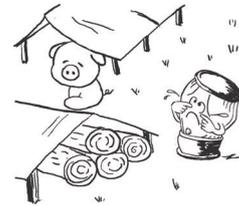
● 可燃性ガスの発生、またはたまる場所

爆発や火災・事故の危険があります。

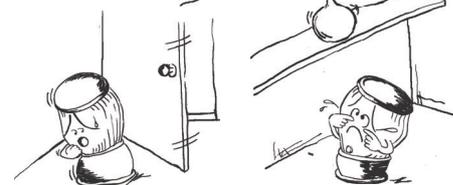
● ストーブ上に落下する物がある場所

ストーブ上または周辺に落下したものにより、火災の危険があります。

使用禁止



化学薬品



使用上のお願い (NOTICE)

◆ 灯油の廃棄の仕方について

灯油の廃棄に関しては、その灯油をお買い求めになった販売店に直接ご相談ください。

◆ 結露などの湿気に注意

ストーブは室内で燃焼すると部屋が温まり、窓や壁に結露が発生することがあります。
家電や精密機器に影響をおよぼし故障のおそれがあります。
換気をじゅうぶんにしてください。

[2] 推奨される使用場所

◆ サーキュレーターなどでストーブに直接風が当たらないように注意し、室内の空気を
対流させると、温度のムラが少なくなり、効果的に暖房が行えます。

◆ ストーブは、部屋の中央に置くと、対流効果により温度のムラが減り効果的に暖房が
行えます。

ただし、部屋の開口部や人の通りの多い場所、風のあたる場所や可燃物のそばなど、
危険のある場所は避けてください。



[4] 使用前の準備

1. ストープの取出しについて

- (1) 梱包箱から包装材などを取り除き、製品を傷つけないように取り出してください。
※包装材は可燃物です。使用前には必ず取り除いてください。
- (2) 燃焼筒保護ダンボールを取り出してください。
- (3) ガラス保護用シールを取り除いてください。
- (4) 梱包箱や包装材は再びストーブを保管・移動するときに必要なものです。
取扱説明書も一緒に保管してください。
- (5) 燃焼筒取っ手を左右に動かし、対震自動消火装置に燃焼筒が正しくセットされていることを確認してください。

2. 燃料について



危険

- ガソリンは絶対に使用しないでください。
- 灯油 (JIS1号灯油) を必ず使用してください。
- 不良灯油は、絶対に使用しないでください。
- 誤って灯油以外の燃料を使用してしまった際には、緊急消火レバーを下げてください。

ガソリン禁止



正しい灯油の保管方法について

- 推奨マークのついた紫外線を通しにくい色つきの灯油用ポリタンクを使用してください。
灯油専用タンク以外での保管は、灯油が変質する恐れがあるため使用しないでください。
ふたはしっかり閉めて紫外線や高温を避け、安全な場所に保管してください。
- 灯油は火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた冷暗所で保管し、翌シーズンに持ち越さないでください。変質灯油となります。

灯油用
ポリエチレンかん
危険等級 III
推奨



<p>良い 保管</p>	<p>直射日光、雨水が当たらず、 火気のない冷暗所</p>		<p>悪い 保管</p>	<p>直射日光、雨水の当たる ベランダなどの室外</p>	
------------------	-----------------------------------	--	------------------	----------------------------------	--

不良灯油 (変質灯油、不純灯油) について 変質灯油とは

- 昨シーズンの持ち越し灯油
- 温度や湿度の高い場所で保管した灯油
- 日の当たる場所で保管した灯油
- 乳白色のポリタンク (水用など)、灯油専用容器以外で保管した灯油
- ふたの空いたまま保管した灯油
- すっぱいにおいがしたり、うす黄色に変色した灯油

不純灯油とは

- 水やごみなどの不純物や、ガソリンや、軽油、シンナーなど異種燃料が混入した灯油
- 灯油以外の油を保管したことのある容器に入れられた灯油
- 水抜剤、助燃剤を添加した灯油

不良灯油 (変質灯油・不純灯油) の見分けかた

- (1) 使用する灯油が正しく保管されていたか確認してください。
- (2) 2つのコップを準備します。1つには水、もう一方には灯油を入れ、並べます。その2つのコップの背後に白い紙をあて、明るい場所で色を比較したとき、変質灯油の場合は色がついていることがあります。うす黄色をおびた色になったり、すっぱいにおいがしたりします。しかし保管状態によっては、変色・異臭がしていなくても灯油が変質している場合があります。水が混入した不純灯油は灯油と水が分離し、水が下にたまります。

<p>保管期間が短く、水と 同じ無色透明なら正常</p>	<p>少しでも色がついて いたら使用しない</p>
<p>白い紙 水 灯油</p>	<p>白い紙 水 灯油</p>

灯油とガソリンの見分けかたのポイント	
<p>指先に使用燃料をつけて息を吹きかけます。 (火の気のない所でおこなってください。)</p>	
<p>○ 灯油</p>	<p>✕ ガソリン</p>
<p>濡れた まま ○</p>	<p>すぐに 乾く ✕</p>

2. 燃料について

不良灯油(変質灯油、不純灯油)を使用するとストーブの故障の原因になります

- 不良灯油を使用すると、短期間のご使用でもしんにタールがたまったり、火がつきにくなったりして、しんの調整が困難になり、炎の大きさに異常や異臭が生じることがあります。また、消火が困難な状態になる可能性があります。
- 灯油以外の液体が混入した状態では、灯油がじゅうぶんに残っていても炎が小さくなったり、しんの調節が困難になり、異常燃焼や異臭が生じることがあります。
- ガソリン、シンナーなど、揮発性の高いものが混入した灯油を使用すると、火災の原因になります。

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使ってしまったときの対処方法

- 油タンク内の不良灯油を完全に抜き取り、正常な灯油で内部を2~3回洗浄したのち正常な灯油に入れ替えを行ってください。不良灯油が残っている場合は正常に機能しません。正常に機能しない場合、しんを新しいものに取り替えてください。

※不良灯油が原因で故障した場合の修理は、保証期間中であっても有料修理となります。ご注意ください。

3. 給油について



警告

給油の際は必ず消火後、ストーブの温度がじゅうぶん下がってから火の気がない安全な場所(屋外など)でおこなってください。火災やケガ、やけどの危険があります。

給油時注意



- (1) 給油口のキャップを開ける。

給油口のキャップを反時計回り(左)にまわして取り外してください。

- (2) 油量計のメモリを確認しながら給油する。

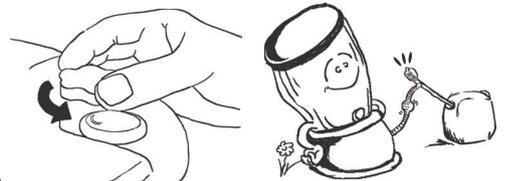
市販の給油ポンプの先端を止まるまで軽く差し込んで、動かないように手で固定して、油量計のメモリを確認しながら給油してください。油量計の「満」を超えて給油すると、灯油があふれ出ることがありますので、「満」を超えないように注意してください。

- (3) 給油口のキャップをしめる。

給油口のキャップは、時計回り(右)に回して正常にしまっているか確認してください。灯油容器のふたもしめ忘れないように注意してください。

- (4) 灯油がこぼれた場合はよくふき取る。

灯油があふれたり、こぼれたりした場合はきれいにふきとってください。(容器のふちについたり、床などにも注意してください。)異臭が発生したり、火災の原因になる可能性があります。



(使用時の給油の目安)

ストーブ使用の際は、定期的に油量計のメモリを確認し、灯油の残量を確認、メモリが「0」を示す前に給油してください。

4. 点火前の準備と確認について

- (1) 点火前に確認する。

ストーブの周辺に可燃物や危険なものがないことを確認し、水平で安定した安全な場所に設置してください。

- (2) 燃焼筒が正しくセットされているか確認する。

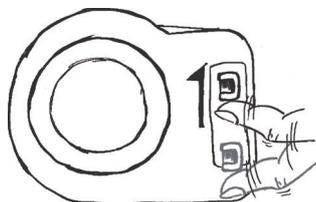
点火する前には、必ず燃焼筒が正しい位置にあるかどうか燃焼筒取っ手を左右に2~3回動かして、スムーズに動くことを確認してください。

※燃焼筒が正しくセットされていないと、すすが出たり異常燃焼の原因となります。

- (3) 対震自動消火装置(安全装置)のセットを確認する。

対震自動消火装置のセットレバーを矢印(上)方向に上げ、正常に機能するか確認してください。

※セットレバーが上がっていないと、対震自動消火装置が正常に機能しません。



2~3回

[5] 使用のしかた

1. 点火のしかたについて



注意

はじめて使用するときや、しんの交換をした後は、しんに灯油がじゅうぶんなじむよう、給油後約20分間おいて点火してください。じゅうぶん灯油がなじんでいない場合、点火や消火が困難になったり、しんの上下操作に異常が出る場合があります。

注意



- はじめてお使いになるときは、ストーブ本体やしんに目立つごみやほこりがないか確認し、取り除いてください。点火後、ストーブに付着している小さなほこりや油が焼けるにおいがすることがありますが、しばらく使用すると気にならなくなります。それでもにおいが消えない場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。

(1) 対震自動消火装置の右側にあるセットレバーを矢印方向に上げてセッティングした後、しん調節つまみを「燃焼」にゆっくりと完全に回しきってください。(しんが上がります)

※しん調節つまみを回しても固定されない場合は、いったんしん調節つまみを元の「消火」の位置に戻してください。しんにタールがついていると、固くなったり、回せなくなったりします。しんを新しいものに交換してください。



(2) 市販の点火用ライターやマッチで点火する。

たばこ用のライターで点火しないでください。燃焼筒取っ手を上に持ち上げ、マッチや市販の点火用ライターなどを使ってしんに着火してください。マッチの燃えかすなどを、しん付近やストーブ内に落としたり、置台の上に置かないでください。点火用ライターやマッチなどの引火性の高いものは、ストーブ及びその周囲からじゅうぶんに遠ざけてください。火災の危険があります。

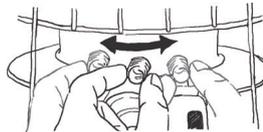
(3) 燃焼筒のセットを再度確認する。

燃焼筒のセットは着火前後で必ず確認してください。ズレていると煙やすがでます。

- 点火後しばらくは、炎が安定するのに時間がかかります。「ポツ、ポツ、ポツ」と燃焼音がしますが、点火して間もない間は異常ではありません。火力が安定するまで15分程度かかる場合があります。しばらく待っても炎が安定せず異常な状況が継続した場合は使用を中止してください。

- 火が着いたことを確認したら、燃焼筒取っ手を左右に2～3回動かし、燃焼筒が正しい位置にセットされているか確認してください。

正しい位置に燃焼筒が設置されていない場合、異常燃焼や異臭、火災などの危険があります。



- 点火の確認後、しんの操作がスムーズに行えるか確認するために、しん調節つまみを火が消えない程度に「消火」の方向に少し回してみてください。問題が無い場合はもう一度「燃焼」の方向につまみを動かし、火の大きさを慎重に調節してください。しん調節つまみがスムーズに回らないときは、消火後、温度がじゅうぶんに下がってから、再度燃焼筒を持ち上げて、しんを完全に下げてから、初めから点火操作をおこなってください。

2. 炎の調節のしかたについて



警告

◆衣類などの乾燥には使用しないでください。乾燥や加熱目的でストーブ周辺やストーブの上に物を張りつけたり下げたりしないでください。乾燥した衣類がストーブの熱気でゆれて、落下して火がつき火災になります。

禁止



◆やかんなどは使用しないでください。やかんなどをのせた場合は、振動や接触によって熱湯がこぼれ、やけどをしたり、ガラス部分が破損し、異常燃焼のおそれがあります。また、ストーブの故障や損傷の原因になります。

禁止

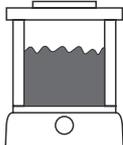
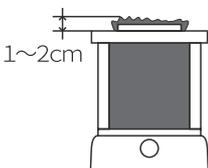
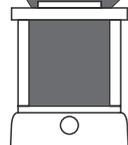


2. 炎の調節のしかたについて

【炎の調節】

- しん調節つまみで炎の調整を行ってください。
- 炎を調節するときは、下のイラストを参考に必ず正常燃焼の範囲を確認して使用してください。

【炎の状態】 正常燃焼時の炎の長さは、内炎筒(火皿)から1~2cmです。

異常	正常	異常
		
しんの下げ過ぎ (炎が出ない)	正常燃焼	しんの上げ過ぎ (炎が大きすぎる)
においや一酸化炭素が 多くなっている	炎が内炎筒(火皿)から 1~2cm出ている	すすや一酸化炭素が 多く発生している

- 炎の大きさは上図、正常燃焼の範囲で使用してください。
- 点火後約3~5分ほどで、炎が上がります。間もなく炎が長く伸びます。炎がイラストの「正常燃焼」ように燃えるのがよい状態です。
- 室内温度が上がると、炎が大きくなることがあります。すすが出たり、炎の大きさに異常が出た場合は、しんの調節を行ってください。
- ストープの使用中は定期的に炎の状態を確認し、異常がないことを確認してください。異常がある場合はしん調節つまみで炎の調節をしてください。
- 炎は環状に均一には揃いません。前後左右に伸びた炎の長さは、それぞれ異なることがありますが、極端でない場合は問題ありません。

【正常燃焼の範囲内で火力を弱くする場合の注意】

- 炎が内炎筒(火皿)から出ている状態で使用してください。しんを下げ過ぎないでください。
- 過剰に火力を弱くした場合、においや一酸化炭素が多く発生して、しんにタールが付着します。そのため消火時間が長くなります。
- 使用時間の経過、燃焼筒の酸化、しんの劣化によって炎の大きさは小さくなってきます。しん調節つまみを最大限に上げて、炎が大きくならないときは、しんを新しいものに取り替えてください。
- 不良灯油を使用してしまい、水を含んでしまったり、しんにタールが付着すると、炎が大きくならなかつたり、しんの上下操作が重くなったりします。

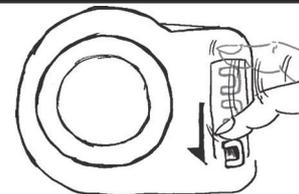
3. 消火のしかたについて

【緊急でない消火の場合】

- (1) 「消火」の方向へしん調節つまみを止まるまでゆっくりと回す。
はやく回すとにおいが出やすくなります。
- (2) 消火の確認をする。
 - 消火操作後は、火が確実に消えたことを確認し、温度がじゅうぶんに下がるまで注意してください。
 - 消火に時間がかかる場合は、「緊急消火レバー」を下げて消火してください。

【緊急の消火の場合】

- ◆ 対震自動消火装置にあるセットレバー(緊急消火レバー)を下げる。
- 緊急消火レバーを使用すると、においやすすが発生することがあります。消火操作後は、火が確実に消えたことを確認し、温度がじゅうぶんに下がるまで注意してください。
- 緊急消火レバーを下げて、消火できない場合は、しん調節つまみを強く「消火」の方向に回してください。それでも消火しない場合は、燃料がなくなり火が消えるまで燃やしきってください。
- 火の勢いがおさまらず危険な場合で、消火器がない場合はストーブに毛布や布団などで完全に覆い、空気が入らないようにし、その上から大量の水をかけて消火してください。(ストーブを水の中に直接投げ入れたりしないでください。)
- ※ 水をかけると水蒸気が出たり、急激な温度の変化でガラス外筒が割れることがあります。ケガややけどをしないように、手袋をはめたり、手にタオルを巻くなど、じゅうぶんな装備をしてからおこなってください。水をかけると、油タンク内に水が入ったり、水がしんにかかることがあります。
- ※ しんに水が含まれていると、しんの操作に不具合が生じる場合があります。新しいしんに交換してください。替えしんについては、販売店までお問い合わせください。
- ※ 消火後、しばらくは再点火しないでください。燃焼筒が冷める前にしんを上げると、生ガスが発生し、異臭が生じたり、点火しない場合があります。



[6] 安全装置

【対震自動消火装置】

- 火災などの危険を防ぐため、ストーブが震度約5以上の地震や強い振動や衝撃を受けた際に、自動的に火を消す装置です。
 - 対震自動消火装置のセットレバーを矢印(上)方向に上げて使用してください。
 - 地震によって作動した場合は、周囲の状況を確認、ストーブ本体に損傷はないか、灯油の漏れはないか、可燃物が周囲にないか、異常がないことを確認してください。
- ※対震自動消火装置が作動した場合は、においやすすが発生します。

[7] 普段の手入れ・点検

点検・手入れのしかた

【点検・手入れをおこなうときは】

- ストーブの火が完全に消えていることを確認し、温度がじゅうぶんに下がってからおこなってください。
- ケガややけど防止のため、手袋や軍手をはめて、おこなってください。
- 個人で対震自動消火装置の取りはずしや分解はおこなわないでください。

【使用前の点検】

点検箇所	点検内容	手入れ方法
ストーブの周辺	ストーブ周辺に可燃物や物がありませんか。	常にストーブ周辺には物を置かないようにしてください。
油たまり・こぼれ・にじみ	ストーブ本体やその周りに油がこぼれたり、たまったり、にじんだりしていませんか。	きれいにふき取ってください。
油漏れ	ストーブ本体やその周辺に油もれはありませんか。	本体から油が漏れている場合は、使用をやめ、お買い求めの販売店に修理依頼をしてください。
ガラス外筒	破損やヒビなどの異常はありませんか。	新しいものに交換してください。
対震自動消火装置	対震自動消火装置のセットレバーを上げ、しん調節つまみを回してしんを上げたうえで、置台をゆすると、対震自動消火装置が正常に作動するか。	しんが完全に下がらない場合は、しんの交換をしてください。 しんの交換をしても作動しない場合は、販売店に修理依頼をしてください。

【月に1回以上】

点検箇所	点検内容	手入れ方法
燃焼用空気取入部(しん案内筒下部)のほこり	ストーブ本体にほこりがたまっていませんか。置台と油タンクの隙間に異物はありませんか。	置台を取りはずし、異物を取り除き、雑巾などでふき取ってください。
対震自動消火装置	対震自動消火装置を作動させて置台をゆすり確実に消火することを確認してください。	消火しないときは使用しないで、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
油タンク	油タンクに水やごみ、不純物がたまっていませんか。	油タンクの中の水やごみ、不純物を給油ポンプなどで吸い出してください。 
燃焼筒	燃焼筒の隙間に、すすやごみが付着していませんか。	ブラシなどを使って、燃えかすや、ゴミ、すすなどを取り除いてください。 
しん	しんに異常がないか確認する。 【しんに問題があると、次のような不具合が発生します。】 ・しんの上下の操作に不具合が生じる。 ・炎の調整や点火・消火に不具合が生じる。 ・炎が安定せず、異臭が生じる。など	新しいしんと交換してください P12、[10] 部品の交換方法、[11] 保管について、参照 【お願い】 換気を行いながら、交換してください。

[8] 機器の定期点検

長期間使用する場合、定期的な機器の点検が必要です。2年に1回程度、使用されない時期にお買い求め店や、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店で点検や修理をさせていただきます。

[9] 故障や異常の見分けかたと処置のしかた

現象 原因	点火しない・しにくい	異常なおいがる	正常燃焼までに時間がかかる	すすを出しながら燃焼する	火花を散らしながら燃焼する	一箇所から赤い火花が出る	灯油がなくなるのが早い	しん調節つまみが重い	しんの調節がしにくい・固い	消火に時間がかかる	燃焼筒が赤熱しない	変な音がする	処置方法
しんが水分を含んでいる	●				●								しんを乾かすか交換する
しんを上げすぎている		●		●	●		●			●			しんを規定どおりまで下げる
しんが上がっていない	●		●								●		しんを規定どおりまで上げる
しんの高さが均一でない					●	●				●	●		しんを切って合わせる
燃焼筒のすわりが悪い または 不安定		●		●	●	●			●		●		燃焼筒を安定させるか交換する
灯油がない または 不足している	●	●									●		灯油を補給する
しんに炭化物が固まって付着している	●	●	●					●	●	●	●		そのまま燃やしてしまう
しんが同心円状にセットされていない		●		●	●	●		●	●	●	●	●	同心円状になるよう差し込む
灯油に水が混ざっている	●		●					●			●	●	タンクを掃除して給油しなおす
灯油が古い		●		●	●				●	●	●		新しい良質の灯油を使用する
蝶型ナットがしっかり締まっていない		●		●				●	●	●	●		蝶型ナットを均等に締める
風を受けている		●		●	●	●					●	●	風が当たらないようにする

この表に基づいて処置できない場合は、お買い求めの販売店やお客様相談窓口にご相談ください。
故障したり、異常がこの表に基づいて処置できない場合は、お買い求めの販売店やお客様相談窓口にご相談ください。
故障したり、異常があるままでのご使用はしないでください。

[10] 部品の交換方法

- 交換部品は必ずニューアルパカストーブ純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 交換部品が必要な場合は、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお問い合わせください。

部品交換の時の注意

- ご自分で部品交換される場合は、ストーブの火が完全に消えていることを確認し、温度がじゅうぶんに下がってからおこなってください。
- ケガややけど防止のため手袋や軍手をはめて、おこなってください。
- 不完全な修理や調整は非常に危険です。お買い求めの販売店または修理資格者(石油機器技術管理士)などのいる販売店で修理を依頼してください。

しんの交換について

- しんは必ず検査に合格し認証されたニューアルパカストーブ純正適合しん(右のシール付)をご使用ください。検査に合格したしんには右にあるシールが貼ってあります。
- しんの交換方法は、替えしんに同梱の「しん交換手順」に従ってください。
 - (1) 外炎筒がじゅうぶん赤熱されない場合や、しんの上下運動がスムーズに行えない時は、しんの上段に付着したすすが原因です。このような場合はタンクの灯油を完全に抜き取り、しんに火をつけて完全に火が消えるまで燃やしきってください。すすが完全になくなればしんが柔らかくなります。
 - (2) しんはガラスファイバーで非常に消耗しにくい材質ですが、週に1回程度しんの掃除をしてください。
※すすやごみ、不純物はハブラシやはけなどで適切に取り除いてください。
 - (3) 年に一度しんの交換を推奨します。しんが損傷・劣化している場合も新しいしんと交換してください。
※点検やお手入れ時には、ストーブ本体などに水が入ったりぬれたりしないよう注意してください。



[11] 保管について(長期間使用しない場合)

長期間使用しない場合や保管する場合は、必ず灯油を全て抜いてください。傾けたり、横倒しにしないでください。故障の原因となります。

- 油タンク内の灯油を完全に抜いて、しんを下ろさず自然に消火するまで燃やしきってください。
※翌シーズンに灯油が入ったまま持ち越さないでください。
- 油タンク内部をよく乾燥させてください。
※水やごみが残ったまま保管すると油タンクのサビや油もれの原因となります。
※スムーズなしんの上下操作を妨げる原因となります。
- ストーブ全体を掃除してください。
※塗装部分は湿らせた布で汚れを落としてからからぶきをして、メッキ部分は柔らかい布でふいてください。
- 掃除終了後は元の状態に戻して下さい。
- 対震自動消火装置を作動させ、しんを下げた状態にしてください。
- ごみやほこりが入らないよう箱に入れ、高温にならず、湿気が少なく、安全な場所に水平に保管してください。
※「取扱説明書」も無くさないように大切に保管してください。



[12] 廃棄について

- 灯油を完全に抜いて、お住まいの各自治体の指導に従って処分してください。
- 灯油の廃棄については、その灯油をお買い求めになった販売店に直接ご相談ください。

[13] 仕様

型式名	TS-77JS-C	燃焼継続時間	約10時間
種類	自然通気形開放式石油ストーブ(しん式・自然対流形)	暖房のめやす	13~17㎡
点火方法	点火用ライターまたはマッチ	外形寸法	高さ405mm×幅350mm×奥行350mm
使用燃料	JIS1号灯油	重量	約6.6kg
燃料消費量	3.0kW(0.293L/h)	しんの種類	普通筒しん(TS-77JC)
暖房出力	3.0kW	しん呼び寸法	径95mm×厚3mm×長200mm
油タンク容量	3.7L	安全装置	対震自動消火装置(しん降下式)

[14] アフターサービスについて

保証について

- 保証書は記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い求め日より1年間です。
- 以下による原因でおこった故障および事故につきましては、保証の対象外です。ご注意ください。
 - (1) 不良灯油や灯油以外の燃料を使用したことによる故障や事故
 - (2) 手入れ不良によっておこった故障や事故
 - (3) 純正部品以外の使用や、タールが付着したままでの使用、水ぬれによる故障や事故
 - (4) 認証されたニューアルパカストーブ純正適合しん以外のしんを使用したことによる故障や事故
 - (5) 取扱説明書や本体シールの注意事項を守らずにおこった場合の故障や事故
 - (6) 改造を加えたり、屋外で使用された場合の故障や事故
 - (7) ストーブの製造番号(当社製品)が確認できない場合の故障や事故
 - (8) 本体貼付ラベルをはがした場合や、塗装した場合の故障や事故
- その他保証書内に記載されている注意事項などをよくお読みください。

修理の依頼について

- 本取扱説明書をご確認の上、適切な対処をおこなってください。
解決されない場合は直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または、お客様相談窓口にて修理を依頼してください。
- 下記の事項をご連絡してください。
 - (1) おなまえ・おところ・電話番号
 - (2) お買い求め年月日
 - (3) 品名……石油ストーブ(自然通気形開放式石油ストーブ)
 - (4) 型式の呼び……TS-77JS-C
 - (5) 購入店
 - (6) 故障の状況(できるだけ詳細に記入してください。)
- 修理の依頼時は保証書に必要事項を記入のうえ提示してください。
保証書の規定に従って、販売店、またはお客様相談窓口より対応させていただきます。
- 保証期間が過ぎていても、修理可能な場合は有料で承ります。
その場合の修理料金は、技術料・部品代・出張料・送料などがかかりますので、必ずお見積りをおとりください。
- 修理の依頼時は、油タンクの灯油を全て抜いてください。油がこぼれるなど危険です。

補修用性能部品について

- 本製品の補修用性能部品(製品の機能維持に必要な部品)の保有期間は製造打切り後6年です。
- 消耗・劣化する部品
しんは、使用期間により、交換・メンテナンスが必要であり、変質灯油、不純灯油などの使用で劣化しやすい部品です。

故障や修理の際のお客様相談窓口

- 故障や修理のご相談は、お買い求めの販売店、または下記「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
株式会社ハピネス(お客様相談窓口)
フリーコール 0120-554-642
受付時間: 平日(月曜～金曜) 午前10時～午後5時 (平日12時～13時・土・日・祝日は除く)

ニューアルパカ石油ストーブ保証書

型 式	TS-77JS-C	※販売店情報(店名・住所・電話番号)
保証期間	お買い求め日より1年間	
お買い求め日	年 月 日	
お 名 前	-----様	
郵便番号	〒-----	
ご 住 所	-----	

電話番号	【-----】	

本保証書は、有効期間内での修理をおこなうことをお約束するものです。

※保証対象外の項目もあります。ご注意ください。

お買い求め日から1年以内に故障が発生した場合、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口へご相談ください。

※上記項目に記入漏れがある場合、または購入・支払いを証明するものが無い場合は有料修理となります。購入証明書(領収書・納品書など)を大切に保管してください。

【無料修理規定】

- お買い求め日から1年以内に、取扱説明書や本体貼付ラベルなどの注意書に従った正しい使用での故障について、お買い求めの販売店または弊社が無料で修理いたします。
 - 修理に関して、弊社(株式会社ハピネス)へ依頼する場合の往復送料はお客様負担となります。弊社以外から購入した場合の送料は、お買い求めの販売店にご確認ください。
 - 無料修理を依頼する場合、本書の保証書に必要な事項を記入のうえ、支払いを証明するものをご提示ください。
 - お買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
 - 下記の場合は保証期間内でも、保証対象外となり修理は有料となります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従わずに、間違った方法で使用したり、個人での修理や改造による故障や損傷
 - お買い求め後の過失による故障や損傷(使用の際および輸送時の転倒、落下、衝撃)
 - 天災地変(火災、地震、水害、落雷、その他の自然災害)、公害や環境要因による故障や損傷
 - 指定以外の燃料や、不良灯油を使用した場合の故障や損傷
 - 一般家庭用以外(温室や業務上の使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障や損傷
 - 消耗品であるしんの交換
 - 本保証書に必要な事項の記入がない場合や、内容が不明または不正な状態で記入されている場合
 - 屋外使用による故障や損傷
 - 修理のご依頼に際して本保証書のご提示がない場合や、ストーブの製造番号が確認できない場合
 - 本保証書は日本国内のみ有効です。Effective Only in Japan
 - 本保証書は再発行いたしません。紛失しないでください。
 - 個人間での売買品や譲渡品などの商品については、購入・支払いを証明するものがが必要です。
- 本保証書は、本書に示された期間や条件においての修理をお約束するものです。従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - 補修用性能部品の保有期間は製造打切り後6年です。
 - 保証期間内のサービス活動や、その後の安全点検活動のために、お客様の製品情報を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

製造日:

製造番号:

株式会社 ハピネス

〒811-0201

福岡県福岡市東区三苫2-1-47

フリーコール 0120-554-642

受付時間: 平日(月曜~金曜) 午前10時~午後5時

(平日12時~13時・土・日・祝日・お盆休み・年末年始は除く)